

日本社会保障法学会会報 第31号

発行日：2011.9.1 発行人：石橋敏郎 編集人：加藤智章 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院法学研究科
加藤智章研究室気付
Tel：011-706-3949 Fax：011-706-4948 E-mail：sslaw@juris.hokudai.ac.jp
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：588名（2011年9月1日現在）

第60回秋季大会開催案内 事務局長 加藤智章（北海道大学）

日本社会保障法学会第60回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

- ・ 日 時：2011年10月15日（土） 9：00～17：00
- ・ 会 場：日本女子大学 西生田キャンパス（〒214-8565 川崎市多摩区西生田1-1-1）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
個別報告・総会・シンポジウム会場：九十年館B棟1階 10番教室
- ・ お問い合わせ先 Tel：044-966-2121（人間社会学部 増田幸弘 研究室）
- ・ 大会次第（詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。）
受付開始……………9:00
開会……………9:30

個別報告

- 鈴木 静（愛媛大学）……………9:30～10:30
「公衆衛生と患者の人権－ハンセン病医療政策を例に－」
司会：高田清恵（琉球大学）

共通テーマ・シンポジウム

「職業生活の中断と社会保障」

司会：良永彌太郎（熊本学園大学）
品田充儀（労働保険審査会）

- 良永彌太郎（熊本学園大学）……………10:40～10:45
趣旨説明
- 一戸真子（上武大学）……………10:45～11:15
「職業生活の中断を論じる意義」
- 水島郁子（大阪大学）……………11:15～11:50
「傷病を理由とする労働生活の中断と社会保障法」

総会・開催校あいさつ……………11:50～12:15

休憩（昼食）……………12:15～13:30

共通テーマ・シンポジウム（続き）

- 倉田賀世（熊本大学）…………… 13:30～14:05
「出産・育児・介護による労働生活の中断」
- 高島淳子（京都産業大学）…………… 14:05～14:40
「失業による労働生活の中断と所得保障」
- 中野育男（専修大学）…………… 14:40～15:15
「職業生活の中断と職業教育訓練」

休憩…………… 15:15～15:30

- シンポジウム・質疑応答…………… 15:35～17:00

大会終了…………… 17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2011年10月5日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 山田 晋（明治学院大学）

第60回秋季大会は、2011年10月14日（土）、日本女子大学西生田キャンパスにて開催予定です。「職業生活の中断と社会保障」をテーマにシンポジウムが開催されます（担当理事 水島郁子理事・良永彌太郎理事）。個別報告は、鈴木静会員（愛媛大学）の「公衆衛生と患者の人権－ハンセン病医療政策を例に－」が予定されております。

第61回春季大会は大阪市立大学において2012年5月19日（土）に開催されます。ミニシンポジウム大会となり、午前中に大原利夫会員（関東学院大学）を中心に「英米における自己決定支援～成年後見制度を手がかりに」、午後に関根由紀会員（神戸大学）を中心に「EU社会保障立法の加盟国法への影響」が準備されております。

第62回秋季大会につきましては、「東日本大震災と社会保障法」について学会として検討すべきではないかという意向を汲み、現在、大シンポジウム開催へ向けて模索しております。緊急シンポジウムの色彩が濃くなる可能性もあります。会員の方のご意見等、是非お寄せ下さい。

学会で取り上げるべきテーマなどにつき会員の方からのご意見をお待ちいたしております。また個別報告につきましては随時受け付けています。（yamashin@soc.meijigakuin.ac.jp）

（若手会員の文献リスト作成に関して）

企画委員会では、今後の企画立案に役立てるとともに、若手会員（40歳未満もしくは大学院入学後10年未満の会員）の業績を広く紹介するため、文献リストを作成し、学会のホームページに掲載します（当学会誌掲載のものは除く）。つきましては、企画委員会の情報収集能力に限界があるため、上記要件に該当する論文・著書の現物またはコピーを下記にお送り頂ければ幸いです。なおお送り頂いた論

文・著書等は返却いたしませんのでご了承下さい。

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

明治学院大学 社会学部 山田研究室 宛

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 山田 晋（明治学院大学）

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募下さい。募集要領は下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2011年9月30日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。

〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院法学研究科

加藤智章研究室気付 日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 山田 晋（明治学院大学）

2011年度（第8回）学会奨励賞につきましては、候補作品を審査委員会で慎重に審査・検討いたしました結果、「該当なし」となりました。

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 新田秀樹（大正大学）

本年5月より編集委員長を務めさせていただくこととなりました新田です。よろしくお願ひ申し上げます。

- 学会誌 27 号の原稿締切りは例年どおり 12 月 20 日ですので、関係する会員の方におかれては締切りの厳守をお願いいたします。また、59 回春季大会報告者の方並びに 60 回秋季大会報告予定者の方には、秋季大会終了後を目途に執筆要領をお送りいたしますので、文献の引用形式等につき要領を遵守されるようよろしくお願い申し上げます。
- 学会誌 27 号には、学会員が執筆した書籍（2011 年 1 月から 12 月までに出版されたものに限る）の出版案内を掲載する予定です。該当書籍についての情報がありましたら、編集委員長の新田までメールにて御連絡下さい。
- 60 回秋季大会では、学会当日の昼食休憩時に編集委員会の開催を予定しております。詳細については追ってメールにてお知らせしますので、編集委員の方は御承知おき下さい。

新講座編集委員会からの報告 総括編集委員 木下秀雄（大阪市立大学）

新講座刊行の作業は、2012 年春に 3 巻全部の一斉刊行をめざし、現在、8 月末には第一次草稿を編集委員あてに提出、調整を経て年内に最終稿を完成させて提出、という最終段階に差し掛かっているところです。

ご存知のように今年 3 月 11 日に東日本大震災・大規模津波と福島第一原発事故という未曾有の災害と事故が発生しました。今回の新講座刊行に際し、社会保障をめぐる社会的、経済的、政治的状况が大きく変動する時期に敢えて学会として講座を刊行するということが一つの挑戦であると考えてきました。今回の災害と事故は講座刊行を目指した時点で全く予測しなかった事態であり、社会保障をめぐる状況は一層激変し、流動的になっているように見えます。今回、激動する社会における社会保障法学の課題を提起する論文が寄せられることで、新講座が日本社会の今後に何らかの寄与することができるものになることを信じたいと思います。執筆される会員の御努力に期待するとともに、学会会員のみなさんのご支援をお願いいたします。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2011 年度 5 月定例理事会

- 日時：2011 年 5 月 13 日（金）16:00～18:00
- 場所：沖縄大学 本館 207 教室
- 議事内容
 - ①第 59 回春季大会の運営について（略）
 - ②第 60 回秋季大会の運営について（略）
 - ③第 61 回春季大会以降の運営について（略）
 - ④学会誌投稿論文について（略）
 - ⑤奨励賞について（略）
 - ⑥学会誌編集委員会より（略）
 - ⑦国際交流委員会より（略）
 - ⑧日本学術会議について（略）
 - ⑨学会新講座編集委員会より（略）
 - ⑩2010 年度決算報告について
加藤事務局長より 2010 年度会計決算について報告。大曾根監事の監査報告を受けて承認。
 - ⑪2011 年度予算（案）について
加藤事務局長より 2011 年度予算（案）についての提案。承認。
 - ⑫入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）

○2011 年度 7 月定例理事会

- ・日時：2011 年 7 月 9 日（土）16:00～18:00
- ・場所：明治学院大学 本館 92 教室
- ・議事内容
 - ①第 60 回秋季大会の運営について（略）
 - ②第 61 回春季大会の運営について（略）
 - ③第 62 回秋季大会以降の運営について（略）
 - ④奨励賞について
今年度については奨励賞該当論文なし。
 - ⑤学会誌投稿論文について
 - ⑥学会誌編集委員会より（略）
 - ⑦国際交流委員会より（略）
 - ⑧日本学術会議について（略）
 - ⑨学会新講座編集委員会より
会報（本号）の「学会新講座編集委員会より」を参照。
 - ⑩入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）
 - ⑪その他

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

- ・2011 年 5 月 13 日（金）、7 月 9 日（土）の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。
LOHMANN, Ulrich（日本社会事業大学）、鶴田禎人（宮崎大学）、海野久乃（大谷信盛事務所）、森原琴絵（日本労働組合総連合会）、井上従子（神奈川県庁）、井川淳史（名古屋経営短期大学）、井村真己（沖縄国際大学）、金聖烈（京都大学・院）、志村武（関東学院大学）、滝原啓允（中央大学・院）、橋本圭子（トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校）、三好禎之（名古屋経営短期大学）、梁邵英（京都大学・院）（順不同、敬称略）
- ・2011 年 5 月 13 日（金）、7 月 9 日（土）の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。
市川一宏、谷川ひとみ、山脇貞司、濱田大輔、刘綺莉、松本和彦、菊谷達彌、齋藤良常、木下泰子、中島誠、紺屋博昭、村上貴美子（順不同、敬称略）

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1 号から 12 号までは委託事務局に、13 号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1 号から 12 号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

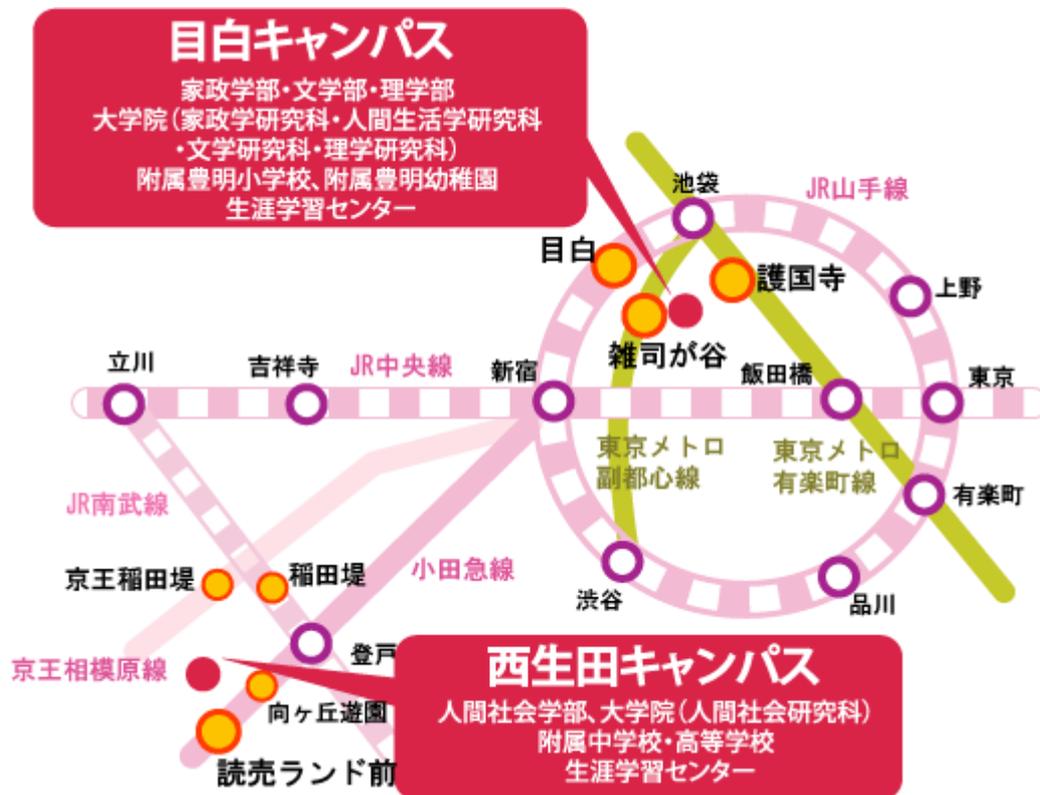
英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第 61 回春季大会は、2012 年 5 月 19 日（土）大阪市立大学にて開催される予定です。

■日本女子大学 西生田キャンパス アクセスマップ

西生田キャンパス（各鉄道からのアクセス）

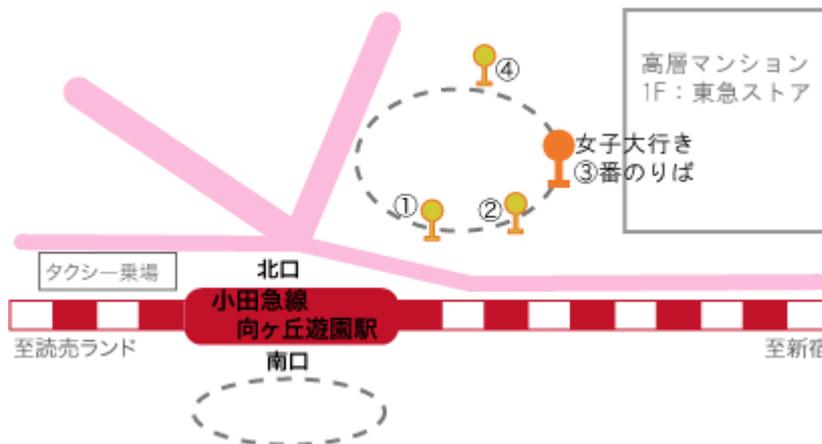


小田急線

『新宿』→『読売ランド前』／急行 25 分（『向ヶ丘遊園』駅乗換／準急 30 分）
 『読売ランド前』駅下車／徒歩約 15 分
 （『向ヶ丘遊園』駅よりスクールバスあり）

15 日（土曜）時刻表

8:26、8:36、8:46、9:06、9:16、9:47、10:10、10:25、10:30



京王相模原線

『京王稲田堤』駅下車 「城下」停留所1乗車 小田急バス（生田営業所行き）読04、読05系統
「日本女子大東門」または「女子大前」下車/約12分

15日（土曜）時刻表

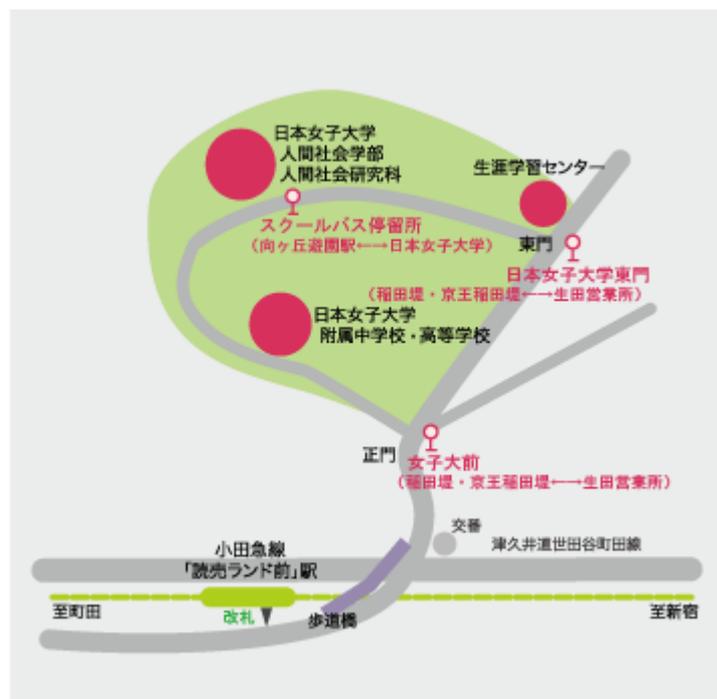
8:08、8:22、8:33、8:48、9:10、9:30、9:50、10:10、10:30、10:50

JR 南武線

『稲田堤』駅下車 「稲田堤駅前」停留所1乗車 小田急バス（生田営業所行き）読02、読04系統
「日本女子大東門」または「女子大前」下車/約12分

15日（土曜）時刻表

8:04、8:16、8:27、8:41、9:21



西生田キャンパス (キャンパスマップ)

九十年館 B 棟 1 階
10 番教室【メイン会場】

